



花小金井小学校

所在地 小平市花小金井一丁目35番地1号
電話 042-463-5051 **FAX** 042-463-5052
電子メール gakkou@17.kodaira.ed.jp
校長 高橋 良友 **副校長** 大澤 宏史
児童数 674名 **学級数** 22学級
教職員数 32名

【沿革】 (抜粋)

- 昭和48年 小平市立花小金井小学校として開校
 49年 校章制定、プール完成
 51年 市研究奨励校研究発表会
 52年 校歌制定、校旗作成
 57年 青少対花小地区委員会発足
 58年 開校10周年記念式典
 市研究奨励校研究発表会
 61・62年 市研究奨励校研究発表会
 平成5年 市研究奨励校研究誌上发表
 開校20周年記念式典
 9年 東京都ボランティア協力校 (平成9～11年度)
 11年 市特色ある教育活動推進校
 12年 市教育研究推進校
 ボランティア推進校
 13年 小平市教育研究協力校研究発表会
 ボランティア推進校
 14年 市特色ある教育活動推進校
 15年 開校30周年記念式典
 17年 東京都情報モラル教育実践モデル校研究発表
 20年 市教育研究推進校
 21年 市教育研究協力校研究発表会
 22・23年 東京学芸大学との連携事業
 25年 開校40周年記念式典
 25・26年 市教育研究推進校
 26年 市教育委研究推進校研究発表会
 給食民間委託開始
 28年 校舎増築委員会発足
 31年 増築校舎完成
 令和元・2年 特色ある教育活動推進校
 文化プログラム・学校連携事業 (地域連携型指定校)
 3年 コーディネーショントレーニング地域拠点校
 5年 コミュニティ・スクール設置

【教育目標】

- 人権尊重の精神を基盤に、
 人間性豊かでたくましく生きる児童を育成する。
- かしこく …主体的に問題解決に取り組み、自分の考えを表現できる子ども
 - つよく …健康でたくましい心身をもち、目標に向かって粘り強く努力する子ども
 - やさしい子…自分も友達も大切にできる子ども



西門のサクラ

【教育目標を達成するための基本方針】 (抜粋)

(1) 学力向上

- 基礎学力の定着
明確な「めあて」と「振り返り・まとめ」のある授業の実施
- 思考力、判断力、表現力の育成
考える時間や話し合う時間を確保した授業の実施
- 読書活動の推進
読書マラソン、読書旬間等の実施
- 補充学習
一人一台端末を活用した花小家庭学習スタイルの実施
- 情報活用能力の育成
ICTを効果的に活用した授業改善に向けた校内研究の実施
- ユニバーサルデザインに基づいた分かりやすい授業
「小平これだけは」の実施
- 教育課程の適正な進行管理
計画的な指導と適正な評価の実施
- 授業力の向上
外部講師を招いた全教員の研究授業の実施

(2) 豊かな人間性の育成

- 人権教育
「自分のことも友達のこと大切にする」標語の作成
- いじめ対応
スクールカウンセラーによる保護者向け講座の実施
- 不登校対応
連絡、相談対応や学習支援に向けた一人一台端末の活用
- 教育相談
スクールカウンセラー等、教育相談体制の確立
- 異学年交流
なかよし班活動等、異学年古流活動の実施
- 道徳教育
保護者、地域と連携、協働した道徳授業地区公開講座の実施
- キャリア教育
キャリアパスポートを活用したキャリア教育の実施
- 情報モラル教育
「花小SNS学校ルール」の指導の徹底と家庭への周知
- 規範意識の向上
全校一致で取り組む生活指導の徹底
- 安全、安心な学校
児童の登下校の安全を見守る「花小見守りデー」の実施

(3) 健康でたくましい心身の育成

- 基礎体力の向上
持久走、なわとび旬間、パワーアップ朝会等の実施
- 運動に対する興味・関心の向上
運動遊びの楽しさを実感させるパワーアップ朝会の実施
- 健康教育の充実
学校農園等を活用した食育指導の実施

(4) 特別支援教育の充実

児童を対象にした理解教育の実施 (3年、5年)

(5) 保護者・地域・外部機関等との連携

- 学校公開・情報発信
年5回の学校公開の実施等、地域に開かれた学校づくり
- 地域の伝統や特色を生かした教育活動
保護者・地域の方をゲストティーチャーに招いた活動の実施
- 地域と共に歩む学校づくり
地域と連携したコミュニティ・スクールの開設、50周年行事の実施

(6) 業務の効率化と精選

教師が担う業務の明確化・適正化の検証

(7) 教員の資質・能力の向上

年間を通じて行う校内OJT研修の実施



鈴木小学校

所在地 小平市鈴木町一丁目450番地
電話 042-324-3661 **FAX** 042-324-3662
電子メール gakkou@18.kodaira.ed.jp
校長 細萱 希彦 **副校長** 長坂 美貴
児童数 304名 **学級数** 12学級
教職員数 28名

【沿革】 (抜粋)

- 昭和51年 小平市立鈴木小学校開校
 52年 校旗・校歌制定 市研究奨励校「特活」
 53年 観察池完成、市研究奨励校発表「特活」
 57年 市研究奨励校発表「社会」
 58年 地下道完成
 61年 開校10周年記念式典
 平成元年 市研究奨励校「全教科」
 2年 文部省研究協力校発表「生活科」
 5年 児童・生徒のボランティア活動普及事業協力校
 6年 ティームティーチングによる指導 (初年)
 7年 開校20周年記念式典・ボランティア活動推進校
 8年 文部省スクールカウンセラー活用調査研究協力校
 児童・生徒のボランティア活動推進校
 9年 文部省スクールカウンセラー活用調査研究協力校
 10年 鈴木遺跡資料室開設
 12年 パソコンルーム開設
 13年 小平市研究推進校
 14年 小平市研究協力校
 15年 プール改修工事完成
 16年 小平市特色ある研究推進校
 地域交流子どもセンター設置
 18年 コミュニケーションクラス「わかば」開設
 小平市特色ある研究推進校・開校30周年記念式典
 20年 小平市研究推進校
 21年 小平市研究協力校発表 (特別支援教育)
 22年 東京都スポーツ教育推進校 (2年間)
 25年 小平市特色ある教育活動推進校
 26・27年 東京都オリンピック・パラリンピック教育推進校
 28年 開校40周年記念式典
 29年 特別支援教室「わかば」の先行実施
 PC教室タブレットPC設置
 令和3年 小平市特色ある教育活動推進校
 5年 小平市教育委員会研究推進校「算数」
 東京都型学校運営協議会設置

【教育目標】

「よく考え やさしく 元気な 鈴木の子」

- ◎基礎・基本の習得とそれを活用する力を身に付け、根拠を明確に自分の考えをもち、判断し、行動できる子ども
- 自他の生命を尊重し、自分も友達も大切にできる子ども
- 自己有用感を高め、心身ともに健康で、粘り強くやり抜く子ども



「自らすすんで、目を見てあいさつ」あいさつ運動



【教育目標を達成するための基本方針】

「やる気いっぱい 思いやりいっぱい ふれ合いいっぱい
 鈴木小」のスローガンのもと「主体性」と「粘り強さ」を大切にしながら、何事にもチャレンジする気運を醸成し、人とのふれ合いを通して、相互に高め合い、達成感や達成感ですべての人が笑顔になれる教育活動を展開する。

① 確かな学力の向上

授業改善による主体性を育成する。学習者用端末の有効活用も含めて基礎学習を積み上げ知識・技能の確実な定着を図る。小平市教育委員会研究推進校として、問題解決型の授業を推進し、自ら考え、根拠を明確にして伝え合う主体的・対話的で深い学びを実践し、学びの質を高める。自主学習を通して、学び続ける喜びを実感させる。

② 健やかな体の育成

自発的に体を動かす意欲を高め、運動の日常化を図る。様々な運動の定期的な取組や、オリンピック・パラリンピック教育を推進し、健やかな体を育てる。

- 体力向上の意欲を高める授業改善
- 休み時間の活用 (児童発案)
- 自分も相手も大切に作る心の育成
- 障がい者理解、豊かな国際感覚の育成

③ 豊かな心の育成

自分が大切にされ役割を実感することで自己肯定感を高め、人や集団との関わりを通じた人権教育を推進する。道徳教育を充実し、ありのままの存在を互いに認め合う感覚を育てる。

- 「自らすすんで、目を見てあいさつ」の推進
- 互いの良さを認め合う活動の充実
- 年3回いじめに関する授業の実施
- 各教科と関連した道徳授業の実践

【「学校経営の基本方針」の具現化に向けた特色ある取組】

◇自立の促進

児童発案を大切にし、話し合い、判断し、行動する機会を重ねて自信をつける。特別活動を充実し、自己の生き方への考えを深め、自分の人生を自分で創っていく意志を育てる。

- 児童発案の活動の推進
- 自ら考え命を守る能力の育成
- たてわり班活動の充実
- 安全に貢献できる能力の育成

◇郷土愛の醸成

保護者や地域人材、関係機関との連携を強化し、授業を実践する。情報発信の充実を図りながら、郷土を愛する心を育てる。

- 東京都型学校運営協議会を中心に、保護者や地域、関係機関との連携の充実
- ホームページ等で積極的な発信
- 学校支援組織の活動への積極的な参加
- 避難所運営委員会との連携
- 地域支援コーディネーターと連携した地域人材の積極的な活用

◇特色ある教育活動

- すすんでみんなと最後までチャレンジする
- 児童発案の活動を全学年で実施する
- 学級学年や学校は自分たちでつくる
- 上級生への憧れで下級生を育成する



学園東小学校

所在地 小平市学園東町二丁目15番1号
 電話 042-344-6801 FAX 042-344-6802
 電子メール gakkou@19.kodaira.ed.jp
 校長 三坂 明子 副校長 植木 陽子
 児童数 394名 学級数 13学級
 教職員数 20名

【沿革】 (抜粋)

- 昭和52年 小平市立学園東小学校開校 プール完成
 53年 校章決定 体育館工事完了 つげの木200本植樹
 62年 創立10周年記念式典挙行
 平成9年 創立20周年記念式典挙行
 13年 東京都学校給食優良校表彰
 15年 学校給食優良校文部科学大臣表彰
 市研究推進校・協力校研究発表会（生活科・総合的な学習の時間）
 18年 コミュニティホール設置
 19年 創立30周年記念式典挙行
 20年 耐震補強工事・バリアフリートイレ設置
 21年 「放課後子ども教室」開始
 22年 太陽光発電設備設置
 市研究推進校・研究発表会（国語）
 25年 コミュニティ・スクール研究校（文科省）
 26年 コミュニティ・スクール研究校（文科省）
 コミュニティ・スクール研究発表会
 27年 コミュニティ・スクールに指定
 28年 キャリア教育表彰（文部科学大臣より）
 給食民間委託開始
 29年 東京都体力向上推進優秀校表彰
 創立40周年記念式典挙行
 30年 市特色ある教育活動推進校（体力向上）
 令和3年 東京都体力向上推進優秀校表彰
 4年 市特色ある教育活動推進校（ICT活用）
 租税教室感謝状（東村山税務署）表彰
 5年 市特色ある教育活動推進校（算数・ICT活用）

【教育目標】

- 「やさしく 元気な がんばる子」
 ○「思いやりのあるやさしい子」
 人・生き物・ものにやさしく接し、思いやりの心をもってともに生きていくことができる子どもの育成を図る
 ○「心も体も元気な子」
 基本的な生活習慣を確実に定着させ、健康・安全に留意して生活することができる子どもの育成を図る
 ○「目標をもってがんばる子」
 基礎・基本の学力を確実に定着させ、主体的に学び、自律できる子どもの育成を図る



国語：対話を通して学びを広げ、深める学習



【教育目標を達成するための基本方針】

笑顔と夢があふれ コミュニティで 育む 学園東
 ～人にやさしく 自分につよく 元気にがんばる 子どもの育成～

1 学力向上

- ・「知識及び技能の習得」「思考力、判断力、表現力の育成」「学びに向かう力、人間性等の涵養」の柱や「主体的・対話的で深い学び」の具現化
- ・基礎基本の定着と学力の向上、「学園東これだけは（学習編）」の実施
- ・ICT機器の活用（学習者用端末、実物投影機、大型テレビ、デジタルカメラ等）による授業改善
- ・地域とかかわる学習の開発や充実
- ・家庭学習の習慣化について家庭への呼びかけ

2 体力向上

- ・体力調査の結果を生かした体育授業の工夫・改善
- ・外遊びの奨励や体力向上にかかわる取組の日常的な推進
- ・体力、健康、安全に関する教育の充実
- ・体育朝会（運動サーキット）等の実施（1校1取組）
- ・生活安全（防犯教育）、交通安全、災害安全に関する指導の充実

3 健全育成

- ・いじめをはじめとするいかなる差別や人権侵害も許さない、自分の大切さとともに他の人の大切さを認める人権教育の推進（「人権教育プログラム」の活用）
- ・「学園東これだけは（生活編）」を活用した全校共通した指導、あいさつ運動の全校取組、いじめの解消・不登校への組織的な対応の徹底
- ・たてわり班活動による異年齢集団の交流や地域・保護者との交流、ふれあい活動
- ・多様性を尊重し、誰もが自分らしく安心して生活できる取組の推進

4 特別支援教育の推進

- ・特別支援教育の視点による学級・学校づくりを行い、どの子どもも授業への集中や周囲とのコミュニケーションがよりよくできるようにする。
- ・特別支援校内委員会を「子ども支援委員会」とし、特別支援教育コーディネーターを中心とした組織的な支援体制を確立するとともに、スクールカウンセラー、特別支援教室巡回教員・専門員、各関係機関との連携を深める。

5 キャリア教育の推進

- ・コミュニティ・スクールとして家庭・地域と連携し、地域力を活用して、地域参画型授業を積極的に取り入れたキャリア教育を進め、地域とともにある学校づくりを目指し、地域による家庭教育への支援を充実させる。
- ・児童が主体的に自分の進路を選択する能力・態度を育成し、自己の良さを伸ばしていくようキャリア教育の充実を図る。



上宿小学校

所在地	小平市小川町一丁目327番地		
電話	042-345-0041	FAX	042-345-0056
電子メール	gakkou@20.kodaira.ed.jp		
校長	内藤 章	副校長	米持 淳一
児童数	324名	学級数	12学級
教職員数	19名		

【沿革】(抜粋)

昭和55年	小平市立上宿小学校開校 校章制定
56年	校歌制定
57年	「全日本よい歯」の学校表彰を受ける。 プール落成 小平市研究奨励校として研究発表会(体育)
62年	理科流水実験・観察池完成
平成元年	開校10周年記念式典
11年	開校20周年記念式典
12年	パソコン教室完成
14年	小平市研究推進校(国語) ボランティア活動協力校(平成14～16年度) 東京都学童農園設置モデル校
15年	小平市研究協力校研究発表会(国語)
16年	プール改修工事(温水シャワー・床等)
17年	小平市「特色ある教育活動」推進校(算数) ボランティア活動推進校(平成17～19年度) 小平市「特色ある教育活動」推進校研究報告会(算数)
21年	耐震補強工事
22年	開校30周年記念式典
23・24年	東京都スポーツ教育推進校指定
25年	「特色ある教育活動」推進校(健全育成)
26～28年	東京都オリンピック・パラリンピック教育推進校
28・29年	小平市教育委員会研究推進校(共尊感情)
29年	上宿小キャラクター制定
令和元年	開校40周年記念式典 ニコニコの庭・記念ソング完成
3年	東京都型学校運営協議会設置 学習者用端末配布
4年	コミュニティ・スクール設置 小平市「特色ある教育活動」推進校(主体的な学習)
5年	小平市「特色ある教育活動」推進校(主体的な学習)

【教育目標】

日本国憲法、教育基本法に則り、公教育としての責任を明確にし、東京都及び小平市の教育目標を踏まえ、心身ともにたくましく知性と感性の豊かな児童の育成を目指して次の目標を設定する。

- やさしい子 ～豊かな人間性～
相手の心情を考えるやさしさと連帯性の育成
- ◎かしこい子 ～確かな学力～
豊かな情操に支えられた創造的思考力の育成
- がんばる子 ～たくましさ～
ねばり強く追求する意志力の育成
- じょうぶな子 ～健康・体力～
心身ともに健康で前向きに生きる力の育成



【教育目標を達成するための基本方針】

児童や保護者・地域など、学校に集う一人一人に居場所があり、「楽しい」「明日も来たい」と思える学校づくりを行い、知徳体のバランスのとれた児童を育成する。

○[学力の向上]

校内研究や日常的な研修を通して授業改善を行い、児童がめあてをもち、主体的に学ぶ楽しい授業を実践することにより、「できた」「分かった」「やってみよう」を味わわせ、学習の基礎・基本の確実な定着と深い学びの実現を図る。

○[健全育成]

「ほめる」「認める」指導を重点とし、安心できる居場所づくりを行うことで、自他を大切にすることを育るとともに、人権尊重の理念に基づいた規範意識を高め、基本的な生活習慣の定着を図る。

○[特別支援教育の推進]

学級での日常的な支援や組織体制の向上により、子どもたち一人一人に合った、どの子にも分かりやすい指導の実現を図る。

○[体力の向上]

体育授業の充実やオリンピック・パラリンピック教育の発展などにより、日常的に運動に親しみ運動好きな児童の育成を図る。

○[キャリア教育の推進]

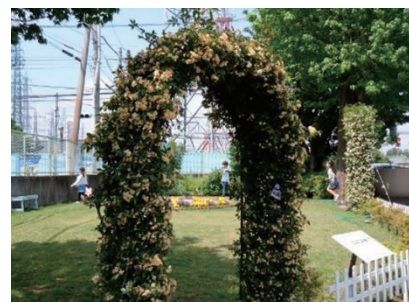
特別活動と総合的な学習の時間を柱として、勤労観・職業観を育むことにより、自分のよさに気づき、将来の生き方や生活について前向きに考え、ねばり強く行動する児童の育成を図る。

○[地域連携の推進]

コミュニティ・スクールのよさを生かし、地域の教育資源を積極的に活用することにより、学びの可能性を広げ、地域と学校が協働して児童の育成を推進する。

○[情報教育の推進]

GIGAスクール構想を受け、学習者用端末やその他ICT機器の効果的な活用を推進することにより、主体的に学ぶ力と情報活用能力の育成を図る。



園芸委員会の児童と地域の方たちが整備する憩いの広場「ニコニコの庭」



小平第一中学校

所在地 小平市仲町506番地
 電話 042-341-0048 FAX 042-341-0609
 電子メール gakkou@31.kodaira.ed.jp
 校長 栗林 昭彦 副校長 小野 定則
 生徒数 484名
 学級数 16学級 うち特別支援学級（知的障害[固定]3学級）
 教職員数 29名



【沿革】（抜粋）

昭和22年 小平町立小平中学校開校
 23年 校章制定
 25年 校旗制定
 28年 校歌制定
 32年 小平町立小平第一中学校と校名変更
 33年 新校舎二階建増築落成
 36年 標準服制定
 37年 小平市立小平第一中学校と校名変更
 40年 体育館完成
 42年 プール完成
 43年 鉄筋四階建校舎増築落成
 平成3年 新体育館・屋上プール落成
 9年 創立50周年記念式典挙行
 11年 総合学習室・図書室新築工事完了
 11・12年 文部省 スクールカウンセラー活用調査研究委託校
 12・13年 文科省 生徒指導総合連携推進事業
 15～17年 文科省人権教育総合推進事業
 18～20年 文部省委託研究「新教育システム開発プログラム」研究協力校
 19年 創立60周年記念式典挙行
 20年 小平市教育委員会研究推進協力校
 21年 小平市教育委員会研究発表
 24年 小平市教育課題研究校
 デジタル教科書等活用研究
 28・29年 東京都教育委員会人権尊重教育推進校
 小平市教育委員会研究推進校
 令和4年 東京都型学校運営協議会設置
 5年 コミュニティ・スクール設置

【教育目標】

人権尊重の精神を基調とし、豊かで健康な心を持ち、主体的に生き、社会に貢献できる人間の育成を目指し、次の目標をかかげる。

- 「自主」 自ら考え、自ら学ぶ人
- 「協力」 互いに思いやり、力を合わせる人
- 「健康」 体を鍛えたくましく生きる人



学習者用端末を活用した授業

【学校の教育目標を達成するための基本方針】

実現に向けた10の施策と27の具体策

- 1 学力向上を目指した指導の充実
 - ①探究学習への取組
 - ②学習意欲の向上をねらいとする指導の充実
 - ③家庭学習の習慣化に向けた支援
 - ④放課後学習教室との連携による支援
- 2 読書活動の充実・推進
 - ①読書の質と量の向上に関わる取組
 - ②学校図書館を活用した学力向上の推進
 - ③読書環境の整備
- 3 教育のDX化の推進
 - ①ICTを活用市や授業改善への取組
 - ②校務効率化・省力化に向けた活用
- 4 進路学習の充実
 - ①計画的なキャリア教育の実施
 - ②進学に向けた指導の充実
- 5 豊かな人間性の育成
 - ①人権意識の定着
 - ②校内規律の確立
 - ③学校行事による生徒の実践的な力の育成
 - ④部活動の充実と適切な実施
- 6 いじめ・不登校への対応
 - ①いじめ防止に向けた指導の徹底
 - ②不登校対策の実施
- 7 特別支援教育の充実
 - ①生徒一人一人のニーズを意識した教育の実施
 - ②I組の指導の充実と通常学級との交流及び共同学習の推進
 - ③特別支援教室との連携と活用の推進
 - ④生徒情報の共有と生徒の状況に応じた指導の実施
- 8 安全教育の充実
 - ①実践的な避難訓練の計画・実施
 - ②情報モラル教育の実践
- 9 健康・体力の向上
 - ①自らの健康について考え行動できる生徒の育成
 - ②心の健康に向けた取組の推進
- 10 コミュニティ・スクールによる取り組みの実施
 - ①学校運営協議会の活性化と支援
 - ②外部の教育力の積極的な活用



小平第二中学校

所在地 小平市小川東町一丁目17番1号
電話 042-341-0244 **FAX** 042-341-1962
電子メール gakkou@32.kodaira.ed.jp
校長 吉田 功 **副校長** 相澤 史彦
生徒数 533名
学級数 18学級（うち特別支援学級（知的障害〔固定〕）3学級）
教職員数 33名

【沿革】（抜粋）

- 昭和30年 小平町立小平中学校分校として開校
分校開校式、落成祝賀式
- 32年 小平町立小平第二中学校として独立開校
独立開校式を11月1日に行い、この日を創立記
日と制定
- 37年 創立5周年を記念して校歌制定
- 42年 体育館兼講堂落成・半地下循環プール完成
- 53年 創立20周年記念式典
- 54年 心障学級開設
- 62年 創立30周年記念式典
- 平成9年 創立40周年記念式典
- 12年 パソコン室改装
- 13・14年 市研究推進・協力校
- 14～16年 都二中地区教育サポートネット事業
- 15～17年 文科省人権教育総合推進事業
- 17～19年 都地域教育プラットフォーム事業
- 17・18年 東京学芸大学「ユビキタス教育実践」協力校
- 19年 創立50周年記念式典
- 21・22年 市研究推進校
- 24年 武蔵野美術大と連携 学校美術館化事業（ムサビ
る！）
- 25～27年 特色ある教育活動「自ら進んで学ぶ生徒の育成」
- 29年 創立60周年記念式典
- 29・30年 市研究推進校研究発表
- 令和元年 小・中連携型コミュニティ・スクール設置
4年 単独でコミュニティ・スクール設置

【教育目標】

- ・自ら考え、正しく判断し、積極的に実践する人間
- ・明るく健康で、情操の豊かな人間
- ・社会の一員として、協力し、向上に努める人間
- ・相手の人格や立場を尊重する人間

【目指す学校像・教師像】

- (1) 上級生が下級生のお手本になる学校。
- (2) 面倒見が良く、心の熱い教員のいる学校。
- (3) 落ち着いた雰囲気、生徒・保護者・地域から信頼される学校。

以上を「二中ブランド」として位置付け、実現に向け努力していく。



RIKUTAI 開会式の様子



【教育目標を達成するための基本方針】（抜粋）

(1) 生徒のウェルビーイングを高める

- ①規則正しい生活リズムづくりと食育の推進
- ②いじめ防止と「生命（いのち）の安全教育」の実践
- ③学級を基盤とした係・委員会、班活動の充実
- ④学校行事（RIKUTAI、合唱コンクール、校外学習、宿泊行事）を通じた生徒の自主性の育成
- ⑤「WEBQU（ウェブキューユー）」や各種アンケートを通じた生徒理解と個に応じた対応の実施
- ⑥キャリアパスポートを活用した目標設定と自己評価活動の実施
- ⑦部活動を通じた他者との交流、自己技術の向上、学習との両立
- ⑧「eboard（イーボード）」、個別教室、あゆみ教室の重層的な校内支援の実施

(2) 生徒の学ぶ意欲や学力を向上させる

- ①朝読書の実施・継続
- ②二中スタンダード（UD（ユニバーサルデザイン））に基づくわかる授業づくり
- ③主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善
- ④考える道徳の実践
- ⑤各種講演会・職場体験の実施、二中版「7つの習慣」づくりと推進を通してのキャリア教育の充実
- ⑥ICT機器や学習者用端末の積極的活用、端末の家庭への持ち帰り
- ⑦「monoxer（モノグサ）」による家庭学習の支援
- ⑧「フォーサイト手帳アプリ」によるスケジュール管理の支援（3学年）
- ⑨生徒の主体性を高める校内研究の実施
- ⑩上級生がお手本になる「二中ブランド」の継承

(3) 家庭や地域との連携を強化する

- ①学校公開や道徳授業地区公開講座の実施
- ②保護者会及び年2回三者面談の実施
- ③各種便り、ホームページ、メールによる情報発信
- ④地域人材・学校支援コーディネーターとの協働
- ⑤行事の見直しによる小・中連携の取組の改善
- ⑥「副籍」による特別支援学校との交流実施
- ⑦学校経営協議会の充実と学校評価に基づく学校改善
- ⑧避難所開設準備委員会との避難訓練の実施
- ⑨青少年対や地域イベントへの生徒の協力

(4) 教職員一人一人が高い志をもち組織力を高める

- ①授業研修・授業公開週間による授業力向上
- ②同僚性に基づく教員間の支え合いによる人材育成
- ③教員による組織的なOJTの実施
- ④校内研修と各種研修会・研究会への積極的参加
- ⑤働き方改革の推進
- ⑥職員室・机上の整理整頓による執務環境の整備
- ⑦服務事故防止研修等による服務事故の防止
- ⑧校内予算の効率的・効果的な執行、光熱費・消耗品費の節減、私費会計の適切な運用と会計事故の防止



小平第三中学校

所在地 小平市鈴木町一丁目311番地
電話 042-341-0575 **FAX** 042-341-0619
電子メール gakkou@33.kodaira.ed.jp
校長 平沢 晃 **副校長** 鈴木 勝博
生徒数 641名
学級数 20学級(うち特別支援学級(知的障害〔固定〕)3学級)
教職員数 35名

【沿革】(抜粋)

昭和35年 小平町立小平第一中学校分教室として発足
 小平町立小平第一中学校分校として開校
 分校開校式、開校祝典挙行
 36年 小平町立小平第三中学校として創立
 初代校長 金丸勝人就任
 開校式挙行 この日を開校記念日に制定
 小平第三中学校「父母と先生の会」(PTA)創立
 校章制定・校旗披露式
 37年 校歌制定、発表式
 小平市立小平第三中学校と校名改称
 38年 二代校長 佐川定之助就任
 40年 学校プール竣工
 43年 体育館竣工
 44年 三代校長 玉城 佑彦就任
 45年 岩石園完成
 47年 四代校長 羽崎 一男就任
 49年 五代校長 菊地 全明就任
 52年 六代校長 上沼 舜二就任
 56年 20周年記念式典、祝賀会挙行
 57年 七代校長 相沢 周三就任
 62年 八代校長 坂本 忠夫就任
 平成2年 九代校長 近藤 實就任
 3年 30周年記念式典、祝賀会挙行
 5年 十代校長 武田 一朗就任
 8年 十一代校長 菊池 章雄就任
 12年 十二代校長 竹内 良夫就任
 13年 40周年記念式典、祝賀会挙行
 16年 十三代校長 加藤 忠就任
 20年 特別支援学級(8組)開級
 23年 50周年記念式典、祝賀会挙行
 25年 十四代校長 田口 克敏就任
 27年 十五代校長 峯岸 貴彦就任
 令和3年 十六代校長 田村 孝夫就任
 60周年記念式典
 5年 十七代校長 平沢 晃就任

【教育目標】

健康 ゆたかな心 たくましいからだ
実践 進んで学び、積極性を養う
協力 ひとりではみんなのために みんなはひとりのために



音楽祭



【目指す学校像】

- 1 子供にとって「安心して自己実現のできる学校」
- 2 保護者にとって「信頼でき、協力したくなる学校」
- 3 教職員にとって「チームとして力を生かし、主体的に課題を解決できる学校」
- 4 地域にとって「内外に開かれ、地域とともに歩む学校」

【今年度の取組】

- ① 生きる力の育成
 - ・三つの考える力(自分を考える力、学習を考える力、人を考える力)の育成
 - ・教育活動全体を通し、キャリア教育の視点に立ち、生徒一人一人の個性・能力の伸長を図り、長所を伸ばす指導に努め、将来の目標に向けて努力する態度と自尊感情・自己肯定感を育む。
- ② 確かな学力の育成と学習意欲の向上
 - ・授業の充実(3中スタンダードの実施)
 - ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
 - ・自主学习支援(地域未来塾・学習者用端末の活用)
- ③ 特別支援教育の充実
 - ・校内委員会の充実を図り、特別支援教育の視点を踏まえた合理的な配慮を進め、特別な支援を必要とする生徒への丁寧かつ適切な指導を行う。
- ④ 豊かな心の育成
 - ・あいさつと礼儀、マナーを大切にする。
 - ・人権教育の推進
 - ・思いやりの心を育み、いじめやを許さない、偏見や差別のない豊かな人間関係を築けるよう教育活動全体を通して指導する。
 - ・道徳教育の充実
 - ・自己の生き方や行動の在り方を深める、「考え、討論する道徳」を推進する。
 - ・体験活動の充実
 - ・学校行事、体験的な活動の充実を図り、生徒の自己実現の機会を多くし、主体的に考え、行動する力を育成する。
- ⑤ つよい心と健やかな体の育成
 - ・教育相談の充実
 - ・自他の生命と安全を尊重する態度の育成
 - ・防災教育の推進
 - ・豊かなスポーツライフの創造
- ⑥ 子供たち、保護者、地域から信頼される学校づくり
 - ・安全管理、安全指導、安全点検の徹底
 - ・環境の整備(人的環境・物的環境)
 - ・情報発信(たより、学校メール、HPの活用)